

川喜多かしこ 夫と戦前からの映画の洋画輸入や戦後の邦画国際化に貢献、国立フィルムセンター設立にも尽力。

かわきたかしこ

アヲヲ 創刊・1908 = 大阪に生れる。父の仕事の関係で、すぐに東京に連れてこられ、以後、横浜を振り出しに、

明治天皇没・1912 = 4歳 :

ロシア革命・1917 = **9歳** : 大連、秋田におよぶ流転の少女時代を送り、小学校は10回も変わり、迷い犬などを友に過ごす。

大暴落・・・1920 = 12歳 : ようやく祖父のいる横浜に戻って、定着した。

原敬首相暗殺1921 = 13歳 : 横浜フェリス女学院に入学、

関東大震災・1923 = 15歳 : 震災で一家で神戸に移ったが、フェリスがなつかしく横浜に戻り、父も死去し、長女として一家を支えねばならなくなり、

治安維持法・1925 = 17歳 : 1年間はフェリスの好意で研究科に在籍して翻訳の仕事をしたが、

円本時代始・1926 = **18歳** : ついに覚悟をせざるを得なくなる。舞台に立つこと、小説を書くことの夢を持っていたが、断念、家庭教師をしながら、YWCAで英語を教えるのと引き換えに、就職に向けて、速記とタイプを習ううち、

共産党事件・1928 = 20歳 : 先生が設立されたばかりの貿易商社東和商事会社を紹介してくれ、

世界恐慌・1929 = 21歳 : 入社、会社が映画の輸入も手掛けていたことでのめり込み、早くも社長の川喜多長政と結婚。欧州映画の輸入配給会社としての方針を確立、早速ルネ・クレールの「自由を我等に」が大成功。

満州事変・・・1931 = 23歳 :

五一五事件・1932 = 24歳 : *初めて海外旅行を共にした際、ベルリンで「征服の処女」を見だし、以後夫の信頼を得て、

毎年のように、渡欧してヨーロッパ映画を選定・輸入する。

芥川直木賞始1935 = **27歳** :

二二六事件・1936 = 28歳 : 最初の日独合作映画「新しき土」を製作。他方、日本映画の輸出も始める。

日中戦争始・1937 = 29歳 : 夫は軍から中国の映画行政を委嘱され、ほとんどを現地に過ごすようになる。

健保+総動員 1938 = 30歳 : 戦局が進み、戦前最後の渡欧となる。

大政翼賛会・1940 = 32歳 : 長女和子が誕生。

日米開戦・・・1941 = 33歳 :

戦争激化に伴い、

年金+総武装 1944 = **36歳** : 在庫は映画配給会社に委託、収益は福祉事業などにあて、会社を閉鎖、娘を連れて上海に行く。

敗戦・・・1945 = 37歳 : 北京に疎開して敗戦を迎え、

新憲法公布・1946 = 38歳 : 引き揚げ、鎌倉の母のところまで一家が暮らす、夫は公職追放となる。

朝鮮戦争始・1950 = 42歳 : 夫は追放解除になると、放たれたように海外に飛び出し、欧州の友人たちに迎えられ、

独立回復・・・1951 = 43歳 : 東和映画の事業を再開、映画に飢えた国民のニーズもあって、

メーデー-事件・1952 = 44歳 : *早くもみのりの年となる。近代美術館にフィルム・ライブラリー設置

TV放送始・・・1953 = **45歳** :

自衛隊発足・1954 = 46歳 : {婦人画報}に半生記を掲載。

55年体制始・1955 = 47歳 : 娘のロンドン留学に伴い、以後、欧州に滞在して多くの映画を発掘。

なべ底不況・1957 = 49歳 : 日本映画を紹介した催しが大成功、以後大きな事業になる。

イスタノラマ・1958 = 50歳 : 映画祭めぐりを始め、紹介した日本の作品が次々受賞するようになって行く。

煩雑な外国映画輸入のため、東宝と相談して輸入映画会社中央映画をつくっていたが、煩雑なため、

安保闘争・・・1960 = 52歳 : 東和映画と東宝が出資する東和株式会社を設立、中央映画を合併。自分は東和映画に残り、フィルム=ライブラリー助成協議会を設立して常務理事に就任し、国立フィルムセンター設立に尽力するとともに、

全国総合計画1962 = **54歳** : 要請されて東和株式会社の社外重役になる。この年発足したアート=シアター運動に打ち込む。

その後数多くの国際映画祭審査員を務め、

全共闘バナー・1969 = 61歳 : 国立フィルムセンターが実現。

ドルショック・・・1971 = **63歳** :

石油ショック1973 = 65歳 :

角栄金脈辞任1974 = 66歳 : 岩波ホールを拠点として、高野悦子とともに、エキブ=ド=シネマ映画上映組織を発足させる。

貿易摩擦問題1980 = **72歳** :

・・・1981 = 73歳 : 夫が死去。菊池寛賞を受賞。

中曽根内閣・1982 = 74歳 : *フィルム=ライブラリーを改組し、川喜多記念映画文化財団として理事長になった。

・・・1984 = 76歳 : フランス芸術文化勲章コマンドールを贈られる。

昭和天皇没・1989 = **81歳** :

55年体制終・1993 = 85歳 : フランス映画社副社長として外国映画輸入に携わっていた一人娘和子に先立たれ、直後に没した。